

【授業の到達目標および概要】

働き盛り世代のメタボリックシンドロームや生活習慣病、メンタルヘルス、禁煙対策など、近年産業保健における課題は多様化・複雑化してきている。地域保健や学校保健と同様に、人生の大部分を過ごす職域での健康管理、健康づくりは今後ますます重要となってくる。本講義では産業保健の目的・役割から、産業保健活動を行なうための施策やプロセスを学び、さらには企業の社員食堂の取り組みや、国際学会での働き盛りのヘルスプロモーションの最新情報、具体的な産業医の 1 日などの紹介を通じて、産業保健の面白さと意義を理解し、その中での栄養士の役割を理解することを目標とする。この目標は、ディプロマポリシーにある保健学の幅広い視野に立って精深な学識を有する者になるための知識修得に関与する。

【授業計画】

- ① 産業保健総論（産業保健の目的・概要）
- ② 健康管理（健康管理の義務と実際の業務）
- ③ 産業保健における健康教育とヘルスプロモーション
- ④ ヘルスリテラシー・健康経営
- ⑤ 作業環境管理
- ⑥ 作業管理と職場巡視
- ⑦ 喫煙対策（企業での禁煙教育）
- ⑧ ニーズに基づく施策（企画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・評価の応用と活用（Act）
- ⑨ 企業における感染症予防（インフルエンザ・新型コロナ対策）
- ⑩ メンタルヘルス（企業におけるストレスチェック）
- ⑪ メタボリックシンドローム対策
- ⑫ グループワーク・発表
- ⑬ 健診・保健指導・健康相談（健診の重要性、保健・栄養指導）
- ⑭ 筆記試験

【授業外学習】

配布したプリント・資料をよく読み、産業保健活動に関する理解を深めること。参考書の「ヘルスリテラシー」の第 7 章を中心に事前に読んでおくこと。（週あたり 200 分程度）

【成績評価の方法・基準】

授業への参加態度、グループワーク、筆記試験により評価を行う。グループワークでの発表についてコメントをフィードバックする。

【教科書】

必要な場合は提示する。随時プリント・資料を配布する。

【参考書】

- ① ヘルスリテラシー〔健康教育の新しいキーワード〕 福田洋・江口泰正編著、大修館書店
- ② ナッジ×ヘルスリテラシー、村山洋史・江口泰正・福田洋編著、大修館書店、2022
- ③ 産業保健と看護 2024 年春季増刊・逆引きで問題解決！あるある事例から学ぶ産業保健現場のデータ活用術 金森悟・福田洋編著、株式会社メディカ出版、2024
- ④ 産業保健マニュアル 第 8 版 産業医科大学教授 森晃爾総編集、南山堂

【教材】

随時、安全衛生ビデオなどの必要な映像を使用する。

【備考】

栄養士の活躍の場として企業・職域は大いに可能性があると考えている。多くの大学院生

がこの講義を履修し、未来の仕事の選択肢を増やし、産業保健・予防医療という新しくやりがいのある分野を知り、挑戦して頂くことを期待している。さらに授業内では、実際の企業の産業保健スタッフが多く集い、多職種で議論し合う「さんぽ会（産業保健研究会）」の紹介も予定している。働き盛りの健康に興味を持つ大学院生を大いに歓迎する。